

The wave traveling all over the world

ウツ・ヘルツ



「テラ・ヘルツ」は、お寺の「寺」と未知の可能性を秘めた周波数の単位「テラヘルツ」をかけたものです。この冊子が目には見えな
い小さな波となって、みなさまの心に届いた
ら……そんなふうに願っています。

目次

凡愚のつぶやき	4
お寺の掲示板	8
教えて！ フダイシさま	10
くらしの知恵箱	12
こども部屋をノック	14
お坊さん WITH ナンタラ	16
仏像もっと知りたいぞう	18
お西さんへ行く(漫画)	20
編集後記	22

凡愚のつぶき

大悲の願船

生死の苦海ほとりなし　ひさしくしずめるわれらをば
弥陀弘誓のふねのみぞ　のせてかならずわたしける

高僧和讃

苦しみに満ちた迷いの海はどこまでも果てしなく続いていく。
その海に長い間沈んでいる私たちを阿弥陀仏の本願の船だけが、
必ず乗せて浄土に渡してくださる。



*凡愚(ぼんぐ).....平凡でありふれた人や、そのさま。

日本に四季があるように、仏事にも季節がある。葬儀を終えたばかりの初七日や満中陰の法要は涙が乾かない中、心の傷が剥き出しの状態^{かさぶた}で執り行われる。しかし、時が経つにつれ心の傷に瘡蓋^{かさぶた}ができ、それがとれていく。傷に触れないよう気を遣い、お互い慎重に選んでいた言葉も、だんだんと緊張が緩んでいろいろな話ができるようになる。故人からいただいた新しいご縁の種が少しずつ芽を出して、新たな人間関係が育まれる。

愛別のご縁から四年目を迎える、あるご家庭での出来事。故人からすれば娘さん、息子さん、妹さんと私がお勤めを終えた後、談笑していた妹さん曰わく「姉さんは亡くなる三十分前から、大きな声でなにかを叫び、ベッドの上で平泳ぎのような動きをしていました。あまりの迫力に声をかけることを躊躇しました。なんだったのか……未だにわかり

ません」。

この問いに娘さんがこう返した。「あつ、お母さんはずっとジムのプールに通っていたから、三途の川を泳いでいたのかもしれないわ」。

それに対して息子さんが言う。「でも母ちゃんは流れるプールで歩いていただけだから、泳げるかは怪しいね」。

ここで一同大笑い。最後に娘さんが「お母さん、三途の川を渡れたのかなあ」とポツリとつぶやいた。家に帰って考えた。どう答えればよかったのかな。

三途（三塗）の川ではないが、今回の和讃でいう「生死の苦海」。苦しみに満ちた迷いの海はどこまでも果てしなく続いていて、その海に長い間沈んでいたのが私である。煩惱の重しを背負う私が、己の力でこの

海に臨むのは困難極まりない。過去世より深く沈んできた私を目当てとした阿弥陀様が「この船に乗せて間違いなくお浄土に渡す」と仰っているのだ。船の特性は、本来沈むものに乗せて運ぶというところにある。そういう意味では、本来沈むべき私が船の大きな力によって沈むことなく海を渡れるのだ。

また目的地までの航海において、船の力が大きいから、一度乗船すれば煩惱の有無、男女、賢愚、老少、善悪……乗る者のさまざまの違いが影響を受けない。この船は、私たちを乗せ浄土に渡らせ、仏とすることを目的とした。私を救うために用意された船なのだ。

「三十分平泳ぎをしていたお母さん、きっと泳ぎ疲れて大悲の願船に乗られたんじゃないですか」。次回のお参りでは、こんな話をしてみようと思うのだった。

お寺の掲示板

一言に

込める願いや

息白し

ひとつの言葉は
それぞれにひとつの
心をもっている。

今月の言葉は、島根県の青年僧侶、能美顕之さん（1977）の句です。この句とは直接の関係はありませんが、平成二十五年鹿児島市教育委員会発行の「こころの言の葉」第十一集に収められていた『心の中で』という題の文章をご紹介します。

『毎朝、「早く起きなさい」から始まって、一日に何回しかられるだろう。「聞いているの？ あんたみたいに、毎日注意される子、いないかもよ」という母に「いちいち、うるさい。私、いま反抗期」と口答えした。

「ああ、そうね。あんたが反抗期なら、私は更年期」と母が応戦してきた時は、思わず笑ってしまった。この頃は、面倒くさがり、うるさがり、だんまり、そんな繰り返し。

生まれる前から、私に障害があることを聞かされていた母は、どんな思いで私を産み、育ててきたのだろう。そして、今はどう思っているのだろう。小さい頃のように素直になれたら、もっと楽なのに。「ごめんなさい」。母の背中に、心の中でそっとつぶやく。』

寒い季節、「ごめんなさい」が口に出たときは、「ごめんなさい」の一言に込められた、あたたかな気持ち、白い息になることでしよう。

「南無阿弥陀仏」は「われにまかせよ、そのまま救う」阿弥陀様のお呼び声、南無阿弥陀仏の六字に込められた、願いの深さ、尊さを味わっています。

前住職 村上 充生

教えて！

フダイシさま

●フダイシさまは永照寺の経蔵の中にいて、
たくさんのお経が収められた輪蔵を守りしています。



百円玉を拾いました。どうするのが正しい行動ですか？

(小学5年生)



一両小判や二十円金貨……経蔵の中からいろいろなお金を見てきたなあ。一億円を拾ったら怖くなって警察に届けるが、百円というのが心を惑わすなあ。「警察に届ける」「昔、私が落とした百円が巡り巡って帰ってきた。『おかえりなさい』とポケットに入れる」



「困っている人のために募金する」などなど、いろいろな行動が考えられるな。どの行動を選ぶにしろ……選んだ行動がオヌシのこれからをつくる。と思って行動してみてはいかがかな。まあ、迷っているなら警察に届けることをオススメするぞ。

ドーナツはどうして真ん中に穴が空いているのですか？

(小学2年生)

ドーナツの語源は、英語で「ドー（小麦粉をねったもの）」「ナツ（真ん中に穴の空いた工具、ナット）」を意味するんじゃない。一般的には、油で揚げたときに中まで火が通りやすいからと言われているな。しかし、ドーナツ屋さんに行くと、穴の空いていないドーナツもたくさんあるな。この場合は、どうなっ•と•や•ろ•？

くらしの



知恵箱

悪口の利用法

いろいろなところで、中傷合戦を目にします。悪口は新たな悪口を生み、負の連鎖が起こります。また悪口、特に陰口を言われるとカーッととなります。

ところが蓮如上人のお弟子、法敬坊順誓と

ほうきょうぼんじゅんせい

いう方は、「世間の人は、自分の前では何も言わずに、陰で悪口を言う」といって腹を立てるものである。だが、私はそうは思わない。面と向かって言いくいのであれば、私のいないところでもよいから、私の悪いところを言ってもらいたい。それを伝え聞いて、その悪いところを直したいのである」とおっしゃっています。

なかなかそう思えない私ですが、いただいた悪口の中に成長の種が隠されているのかもしれないですね。



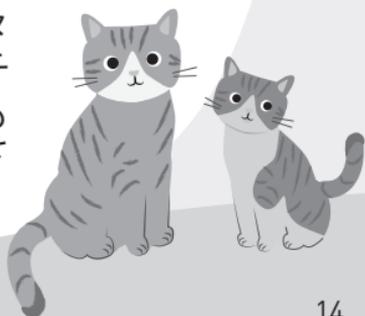
こども部屋をノック

母心イロイロ

お寺に住みつく動物が増えてきました。天井をかけまわるイタチもさることながら、目につくのは猫です。子どもまで出産しました。「お願いします」のヒトニャオもなしに勝手に住みついています。

先日、親猫と子猫がのんびり日向ぼっこをしていました。それを見ていた私はソーツと猫に近づきました。私の姿に気付いた猫親子はびっくりして一目散に逃げ始めました。そのとき親猫は、子猫を完全に無視して先頭を逃げたのです。子猫を守る素振りもありません。

あるカレンダーに、こんな言葉がのっていました。



日本の母は子どもが転んだら「大丈夫？」と言って起こす。
アフリカの母は子どもが転んだら自分も転んで起きて見せる。

愛情のアプローチは違いますが、母の根底に流れる心は同じだと思います。子どもになにかあれば自分のこと以上に心配して、常に子どもの味方で、ときに厳しく、たまには優しく、母心は世界共通に違いありません。

猫の話に戻りますが、きっとあの親猫は子どもをどうでもいいと思って逃げたのではないと思います。自分が先頭を逃げることによって「逃げ方、身の守り方」を教えたのです。もしそうでないのなら……あの猫は雄に違いありません。

お坊さん

WITH

ナンタラ

お坊さんと米

● 毎回ランダムにテーマを選び、エピソードを語ってもらいます。

阪急グループの創始者・小林一三こばやしいちぞうさんの話。昭和の初期、日本は不況で、多くの人は食べるのがやっとでした。百貨店の食堂では、ライスだけを注文し卓上のソースをかけて食べる人が増えてきました。

ライスだけの注文で経営が苦しくなってきたため、食堂の店長は「ライスだけの客お断り」と張り紙をしました。それを見た小林さんは、張

り紙の内容を少しだけ書き直しました。
「ライスだけの客歓迎」。申し訳ないと思っていたものが許された。堂々とライスだけを注文できる。

多くの人々が慈悲にふれ、涙ながらに
ソースを頼張ったことと思います。
自分の仕合せだけで完結せず、他の仕合せを願う心は本当に大切です。



木の龍の背に乗って♪

金剛峯寺

阿耨達童子（国宝 附属）

仏像もっと
知りたいぞう

「秘要法品」という文献には、「身は金色で金翅鳥を頭に載せ、左手には蓮華、右手には独鈷杵を持ち、龍王に乗る」と説かれます。童子像を見ますと、菩薩の姿で右足を下ろして龍に乗ります。頭部に金翅鳥は見られず、左手には蓮華を持ちますが右手はなにも持ちません。ただしなにかを持つような形をとっていますので、造立時には独鈷杵を持っていたのかもしれませんが。指定名称は阿耨多童子と書きます。

不動明王の眷属^{けんぞく}、八大童子の一人です。眷属とは、主尊の従類の称を指します。わかりやすく言えば「とりまき」や「随順するもの」という意味です。



イラストレーター

お西さんへ行く

～京都・西本願寺訪問記～



国宝 阿弥陀堂

こゝろ だいどう
国宝 御影堂

大きい！



西本願寺
工藤惇昭さん

今日は私が案内
させていただきます



本願寺派の本山・
西本願寺に
やってきました

ようこそ！

こんにちは！



御影堂（寛永13年再建）
には親鸞聖人の木像と
歴代宗主の影像が

隣の
阿弥陀堂（宝暦10年再建）
には阿弥陀如来が
安置されています



かわいい！
足元にそんなものが

廊下を見てください。
生き物などをかたどった
埋め木がはまっています。
長年の間にできた
亀裂や穴を補修する際の
遊び心なんです。



※内陣……僧侶が法要を勤める所 ※外陣……一般の人々が礼拝する所



※報恩講……親鸞聖人のご命日法要





今号では永照寺の本山、西本願寺のレポを扱いました。今年には紅葉が遅く、連休明けというタイミングもあり西本願寺にはゆったりとした時間が流れていました。お寺にはあちらこちらに素晴らしい絵画や彫刻があしらわれ、ため息の出る美しさでした。いっぽう豪華とはいえ気後れすることはなく、質素さすら感じさせるから不思議です。お寺の見どころはコーナーで楽しんでいただくことにして、個人的に興味深かったのは、二〇二三年に生まれた西本願寺のブランドマークです。お寺さんとデザイナーさんがコンセプトを話し合うなかで「仏教では生^{せい}だけでなく死も大切な要素」「お寺がみなさんにできるのは『つなぐ』ではなく『寄り添う』」などの言葉が交わされ、マークには次のメッセージが添えられました。「人はひとり。だからこそ、ご縁を見つめたい。」「誰もが、ただ、いい場所。」「浄土真宗の教え「みなが救われる」を現代の「インクルージョン（多様性の包括）」と解

釈し、孤独に寄り添うというお寺の普遍的な役割へとアプローチしたのです。

さて、「テラ・ヘルツ」も毎号制作前に、住職さんとデザイナーさんと私とで編集会議を開いています。その時々の中の様子や自身の心模様を照らし合わせながら、編集方針となるテーマを決めます。「昨年のお正月号に妖怪が出たのはよかったよね」「お正月らしく楽しい宴はどうだろう」「海の仲間と宴会しているとか」「魚っぽいキャラの人もいますよね」……そんな愉快的な会話から生まれたのが今号の表紙です。ちなみに毎号、北九州の名所が舞台になっています。眺めていると、海の生き物たちが人間のようにも見えてくるし、たとえ一人で食事をしている時でも地球上のどこかで動物たちも同じように食事をしている……そんな妄想が膨らんできます。「誰もが、ただ、いい場所。」「西本願寺のメッセージが波紋となって、テラ・ヘルツ6号にまで届いているようです。

「テラ・ヘルツ」は、みなさまからのおたよりやご意見
ご感想を募集しています。以下のQRコード・ハガキ・
FAX・メールなどから、お気軽にお送りください。

住所・名前・電話番号・年代・性別を
ご記入ください

〒803-0814

福岡県北九州市小倉北区大手町16-16

永照寺 テラ・ヘルツ係

Fax | 093-591-4989

E-mail | tera.hertz.book@gmail.com

スマホで
簡単応募



テラ・ヘルツ 6

発行 令和7年1月1日

発行 永照寺

執筆 村上慈顕、村上充生

編集 青木紀子

デザイン・イラスト・漫画 南佳奈江

